

令和7年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

安浦中学校区 校番 23 学校名 呉市立安浦中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	・適切な目標と指標を設定している。
目標達成のための方策の適切さ	B	・学力定着に向けて、何をどうするか明確にしてある。 ・時間を要するかもしれないが、目標達成に向けて学力を向上させてほしい。 ・タブレット端末の活用やグループ学習など、学力向上の方法は多岐にわたっても小テストの繰り返しで個々の習得状況を確認する必要がある。
自己評価の結果と分析の適切さ	B	・学力低下は、家庭学習時間の不足が考えられる。「今でしょ」という精神を浸透させてほしい。
今後の改善策(案)の適切さ	A	・改善案実施で年度末には桜を咲かせてほしい。 ・非常によく考えられている。
その他		・生徒の表情、行動や先生方の熱心が伝わってきました。 ・毎日生徒と接している先生たちが検討され、良い方法を考え実行しています。これからも良い方法を創意工夫して頑張ってください。 ・生徒と先生の関係が非常によく、引き続き今の関係を続けていただき、全国平均を上回る学力を身に付けていただければと思います。 ・生徒会の活動にも関心を受けました。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての 今後の改善策	・今以上に先生と生徒の関係をより一層いいものに築き上げていき学力向上に向けて改善してってください。
------------------------	---